

東京工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	ReadingIV	
科目基礎情報						
科目番号	0054		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	『World Trek: English Communication II』 (桐原書店)					
担当教員	教務系, 横溝 仁					
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した文法事項や様々なリーディング・スキルを活用して正確に英文を読解できる。</li> <li>できるだけ多くの多様な文章に触れ、英文を楽しく正確に読む習慣を身につける。</li> </ul>						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安		
評価項目1	教科書の各章の文法ポイントを十分に理解し説明できる。	教科書の各章の文法ポイントを理解できる。	教科書の各章の文法ポイントを理解できる。	教科書の各章の文法ポイントを理解できない		
評価項目2	辞書無しである程度の長さの入門的な英語の文章を毎分150語の速度で読める。	辞書無しである程度の長さの入門的な英語の文章を毎分100語の速度で読める。	辞書無しで入門的な英語の文章を毎分80語の速度で読める。	辞書無しで入門的な英語の文章を読む速度が毎分80語に満たない。		
評価項目3	授業内で示された課題を近隣の学生達と討議し、結論を導き出せる。	授業内で示された課題を近隣の学生達と討議できる。	授業内で示された課題を最低限近隣の学生達と討議できる。(課題をある程度理解でき。)	授業内で示された課題を近隣の学生達と討議できない。(課題を十分に理解できない。)		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	英文読解力の向上を第一目標とし、適宜スピーキング力、リスニング力を強化する機会を設ける。					
授業の進め方・方法	(小テスト→) 1. 到達目標の提示 → 2. 本文確認 (リスニング、音読、Q&A) → 3. Grammar&Key Sentences → 4. 演習/チャレンジ問題etc. → 5. まとめ					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、参考書、辞書、ハンドアウトを管理するバインダー等は毎回持参すること。</li> <li>この授業では、原則、一文一文の詳細な解説や逐語訳は行わない。各自、予習の段階で本文を一通り読んでおくこと。</li> <li>小テストや定期テストで確認を行う。分からないところがあれば必ず質問に来ること。</li> <li>本科目の成績は定期試験の成績のみならず、予習・復習等の自学自習の実施状況も考慮して判断される。したがって自学自習の習慣を身につけることが必要である。</li> </ul>					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	Lesson 6-1	形式目的語について説明できる。		
		2週	Lesson 6-2	形式目的語について説明できる。		
		3週	Lesson 7-1	関係代名詞の用法について説明できる。		
		4週	Lesson 7-2	関係代名詞の用法について説明できる。		
		5週	Lesson 8-1	分詞構文について説明できる。		
		6週	Lesson 8-2	付帯状況のwithについて説明できる。		
		7週	総復習、中間試験対策	学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。		
		8週	中間試験	学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。		
	4thQ	9週	試験返却 Lesson 9-1	仮定法について説明できる。		
		10週	Lesson 9-2	仮定法について説明できる。		
		11週	Lesson 10-1	準否定語、さまざまな比較表現について説明できる。		
		12週	Lesson 10-2	同格のthat、倒置、省略、強調構文を含む英文を読解できる。		
		13週	Diary ("The Diary of Anne Frank")1	学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。		
		14週	Diary ("The Diary of Anne Frank")2	学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。		
		15週	総復習、学年末試験対策	学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。		
		16週	期末試験	学習した文法事項や読解スキルを活用して正確に英文を読解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		

評価割合							
	試験	小テスト	課題	平常点	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	60	20	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0